

特別の教科 道徳教科用図書採択に向けた選定について、調査研究の結果を下記のとおり報告いたします。

記

1 調査研究経過

○第一回 6月22日(木) (16:00～)

- ・研究内容、研究方法、研究日程等の計画立案

○第二回 7月10日(月) (17:30～)

- ・「適当と認められる教科用図書」3社と
「その他の教科用図書」の選定

○第三回 7月20日(木) (17:30～)

- ・「適当と認められる教科用図書」についての報告書「別紙1」と
「その他の教科用図書」についての報告書「別紙2」の検討と確認

○第四回 7月24日(月) (17:00～)

- ・「適当と認められる教科用図書」についての最終確認

2 採択に向けた選定について調査研究委員会の結論

当地区の教科用図書として適当と認められるのは別紙1のとおりですので、所見を記載して報告します。

3 その他の教科用図書について

上記以外の教科用図書については別紙2のとおり報告します。

適当と認められる教科用図書

発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名
2 東京書籍	道徳 131 231 331 431 531 631	新しい道徳
<p>○総合所見</p> <p>□主体的に考え深い学びとなるよう発達段階に配慮した構成がされている</p> <p>1, 2年生では問題の焦点化が図られるように教材の冒頭で問いかけがあり、3年生以上では、話し合っって考えを深める発問と、自己を見つめ振り返る発問があり、児童が主体的に考え話し合い、深めていくよう工夫されている。また、低学年では身近な生活場面から、3年生以上では「問題を見つけて考える」や「考えるステップ」により主体的に問題を見つけ考える学習となるよう工夫されている。</p> <p>また、巻頭には、学年に応じて、児童自ら学習を進めていくための手順や話し合いの約束があり、主体的な学びを促すよう考えられている。</p> <p>□今日的課題について多様な観点から教材が構成されている</p> <p>安全防災・情報モラル教育など、今日的課題が学習できるよう配慮され、特に「いじめ」については、「いじめをしない・許さない心」を育てる教材、「いじめのない世界へ」が全学年に掲載され、間接的教材・直接的教材を用意し、他の道徳的価値と関連づけ考えていくよう工夫されている。</p> <p>○具体的所見</p> <p>1 教科の目標からの配慮</p> <p>(1) 教材ごと、主体的に話し合っって考えを深める発問と、自己を見つめ振り返る発問との2種類があり、価値の理解に加え自己の生き方について考え深められるよう工夫されている。</p> <p>(2) 全学年を通じて、今日的課題に向き合う教材が適切に配置されており、その内容も児童が自らのこととして考え、最終的には自己の生き方を見つめられる配慮がされている。</p> <p>2 児童の活動への配慮</p> <p>(1) 教材ごと学習のテーマが、児童にわかりやすい言葉で表現され、問題意識を持って、学習できる配慮がされている。また、視点別・内容項目別の目次も用意されている。</p> <p>(2) 巻頭の「道徳の時間が始まるよ」では、学年に応じた言葉で自分の考えを持つこと、みんなで話し合うことの大切さが強調されている。また、こんな自分になりたいなを書き入れることにより、これからの道徳の時間への取り組みや期待感が高まるよう工夫されている。</p> <p>(3) ユニバーサルデザインを意識しての、AB判を採用しているため、紙面が広がり行間が広く読みやすい。また、挿絵や写真が鮮明で児童にとって受け入れやすいデザインや色使いとなっていると共に、心情の深まりや道徳的価値の追求となっていく配慮がされている。行ノンプルの位置も工夫され学習しやすい。</p> <p>(4) 「つながる広がる」では、学年に応じたテーマからの問いかけがあり、各教科とのつながりや実生活との関連が図られる配慮がされている。そこで使われている写真や資料も、児童の興味・関心をひくものである。</p> <p>3 学習指導への配慮</p> <p>(1) 授業の中で感じたことや心に残ったことを振り返り、自らの成長を感じられる配慮がされている。また、学年の終わりには、「かがやく自分に」へを記入することで、一年間を思い起こすと同時に新たな学年へ期待を抱けるよう考えられている。</p> <p>(2) 内容項目を重点化し、計画的且つ発展的に学習を行うことで、児童が考えを深めていくよう配慮がされている。</p>		

適当と認められる教科用図書

発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名
38 光村図書	道徳 135 235 335 435 535 635	きみが いちばん ひかるとき
<p>○総合所見</p> <p><input type="checkbox"/> 児童が段階を追い学び考え深めていく構成がされている 教材の冒頭で、キャラクターからの問いで、児童が興味を持ち教材に関われるよう考えられている。終末には「考えよう」「つなげよう」があり、「考えよう」では、課題を意識できるよう考えられている。問いは、主に3つ（課題を明らかにする・考えを深める・テーマから考える）が示され、児童がそれに沿って考え話し合い、学びが深まる発問が工夫されている。「つなげよう」では、価値の一般化を意識した問いとなっており、他教科・特別活動への発展的な学習や日々の生活への意識付けが図られる配慮がされている。また、本時の振り返りとして、「学びの記録」が設けられ、本時の学習について記入できるようになっている。</p> <p><input type="checkbox"/> 内容項目のつながりを意識した配置構成がされている 一年間を4つの「学習のまとめ」に分け、まとめごと内容項目との関連に考慮し、指導の順序を意識した配列となる配慮がされている。</p> <p>○具体的所見</p> <p>1 教科の目標からの配慮</p> <p>(1) 児童が興味を持って資料に入れる問いかけ文を配置し、スムーズな導入が図られるようにしている。また、終末には複数の問いから構成される「考えよう」「つなげよう」を設け、登場人物に自らを重ね考えていくことで、自己の生き方を見つめ深めていける配慮がされている。</p> <p>(2) 道徳科が、道徳教育の要であることに基づき、他教科・特別活動・学校行事との関連が意識された教材が選ばれている。</p> <p>2 児童の活動への配慮</p> <p>(1) 発達段階を考慮した一枚の絵や漫画を取り入れた教材を、複数の問いから児童が主体的に考え深められるよう工夫されている。</p> <p>(2) 今日の課題の「いじめ」については、複数時間ユニットで考える配慮がされている。また、教材については、身近な生活からいじめを考えていく内容となっており、自らの問題として考えられる配慮がされている。</p> <p>(3) ユニバーサルデザインの観点に立ち、挿絵や写真の配置、配色など、児童に情報が伝わりやすいよう配慮がされている。また、手書き文字に近い教科書体のフォントの使用やB5判サイズで作られ、児童の読みやすさや扱いやすさが意識されている。また、全日本の祭りでは「御柱」教材では「電池が切れるまで」が紹介されている。</p> <p>3 学習指導への配慮</p> <p>(1) 「学びの記録」へ書き入れていくことで、自らの考えや・感じたことを見つめ直したり、教師が児童の心の成長をつかんだりできるよう考えられている。</p> <p>(2) 生命の尊さをテーマにした教材を全学年に三編ずつ掲載し、各教材のつながりが考えられるている。</p>		

適当と認められる教科用図書

発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名
2 2 4 学研教育みらい	道徳 139 239 339 439 539 639	みんなの道徳
<p>○総合所見</p> <p>□主体的に課題を見つけ考えを深めていく構成がされている 本文より前に、教材に係る主題は明示をせず、児童の心の動きを大事にした学習が展開できるよう考えられている。また、巻末の「考えよう」では、「どのように～しますか」等、児童が考えを深め自己を見つめる問いとなるよう考えられている。また、「つなげよう」「広げよう」の学習では、日常生活に生かしたり他の学習へ発展したりできる配慮がされている。</p> <p>□「生命の尊さ」を様々な観点から考えていく構成がされている 全学年で「いのちの教育」を最重点テーマに据え、「生命の尊さ」に関する教材三点を連続的且つ多面的に扱えるよう工夫されている。その学習後には考えたことを記入し、見つめ直すことで、児童の心に染みいるような学習展開が考えられている。</p> <p>○具体的所見</p> <p>1 教科の目標からの配慮</p> <p>(1) 「やってみよう」で役割演技、「広げよう」で発展的な学習、「つなげよう」で自分の生活や生き方につなげて考えるといったように、児童の関心や意欲を大事にした学習過程となるよう工夫されている。 (2) 発問に対する複数の意見の提示により、「自分だったらどうだろうか」という心の動きが生まれやすく、自己を見つめ話し合っていくことで、主体的で深まりのある学習となる配慮がされている。</p> <p>2 児童の活動への配慮</p> <p>(1) ユニバーサルデザインの考え方にに基づき、教科書サイズをA4判にし、紙面・文字の大きさ行間を十分に確保し、見やすく読みやすいよう考えられている。また、教材は全て右ページから始まり、挿絵・写真等も大きく豊富である。 (2) 巻頭では、「今のわたし」へ記入することで、今の自分や夢について考え、巻末では「心の宝物」に記入しすることで、一年間の学びが振り返られる配慮がされている。また、このことを積み重ねていくことで自らの心の成長を感じる機会となるよう考えられている。 (3) 学習展開の多様性から「ふかめよう」の教材には、設定されたテーマを基に自己の考えを記入し話し合い、生活に生かせる配慮がされている。また、学年の発達段階を考え、低学年では「ふかめよう」を多く取り入れている。</p> <p>3 学習指導への配慮</p> <p>(1) 様々な分野の今を生きる人や先人を扱った教材が多く、児童が自らの生き方に希望やあこがれを抱くことができる配慮がされている。 (2) 現代的な課題（情報モラル・食育・健康教育・防災・キャリア教育）を扱った資料がバランスよく配置されている。</p>		

別紙2

発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名
1 1 ・学校図書	道徳 132 232 332 432 532 632	かがやけ みらい
<p>(所見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読みもの」と「活動」の二分冊により、教材から感じたことや思ったことをもとに「活動」にある問いでさらに深く話し合うことができる配慮がされている。また、主題に関連したことについて考えたり調べたりしたことを記入できるよう考えられている。 ・子どもたちが課題意識を持ち、意欲を持って話し合いができるよう、主題を明示したり、学び方をマークで示したりする配慮がされている。 		
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名
1 7 ・教育出版	道徳 134 234 334 434 534 634	小学道徳 はばたこう明日へ
<p>(所見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主題についての「学びの手引き」による発問により児童が主体的に考え話し合っていくことができる配慮がされている。また「ジャンプ」では、自らの経験と重ねたり役割演技にしたりと多様な学びとなる配慮がされている。 ・様々な分野で業績を築いた人から学ぶ教材を多く取り入れ、その生き方や考え方から学ぶことができる配慮がされている。 		
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名
1 1 6 ・日本文教出版	道徳 136 236 336 436 536 636	小学どうとく 生きる力
<p>(所見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「考えてみよう」「見つめよう生かそう」の問いにより、登場人物と自分を重ね考え、自らの生活を見つめ直していくことができる配慮がされている。 ・導入のための発問やあらすじを明示し、教材の内容を理解する手立てとし、児童が問題意識を持って、授業に取り組める配慮がされている。 ・道徳ノートは、自らの考えや話し合ったことを記入することで、本時学んだことの振り返りや自己評価できる配慮がされている。 		

別紙2

発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名
208・光文書院	道徳 138 238 338 438 538 638	小学道徳 ゆたかな心

(所見)

- ・導入の問いかけにより問題意識を持ち教材を考え、巻末では、自分のこととして考えられる発問により、自らを見返したり、これからの自分を考えたりできる配慮がされている。また、キャラクターを用いての様々な視点からの問いかけがあり、児童の考えや見方に広がりや深まりが持てるよう考えられている。
- ・コラムでは人間関係構築のためのエンカウンターを取り入れた学習や、教材とコラムを組み合わせさせた発展的な学習ができる配慮がされている。

発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名
232・廣あかつき	道徳 140 240 340 440 540 640	みんなで考え、話し合う 小学生の道徳

(所見)

- ・3年生以上の「学習の道すじ」では、本資料で考える道徳的価値を明確に示し、問題解決的な学習となるよう考えられている。また、その後の問いにより、児童がその道徳的価値について考えたり話し合ったすることや、生活に生かしていくことができる配慮がされている。
- ・各学年とも「道徳ノート」が整えられ、内容項目のまとまりで活用できるよう考えられている。また、追求する価値に対する自らの考えや感じたことを記入することで、その時間について見つめ直すことができる配慮がされている。

発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名

--	--	--